

## コントラストグレアテスター CGT-2000

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 構成

本体  
応答ボタン



#### 2. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類: クラス I 機器  
電撃に対する保護の程度による装着部の分類: B型装着部

#### 3. 電氣的定格

電源電圧 : AC100~230V  
周波数 : 50-60Hz

#### 4. 寸法及び重量

寸法 : 498mm(H) × 442mm(W) × 470mm(D)  
本体重量 : 22kg

#### 5. 作動・動作原理

##### ① 測定原理

- (1) 白内障は、眼の水晶体が加齢などの原因により白く濁ってしまう症例である。この場合、視力検査等では分からない繊細な見え方の質に影響を及ぼすと言われている。また、屈折矯正手術を行うと、車のヘッドライトや街灯を見たときに、その光の周りに光の輪が見えるハローという現象や、ギラギラと光ってまぶしく見えるグレアと呼ばれる現象が発生することがある。
- (2) 本器は、検査距離30cmの位置にある液晶ディスプレイの中央に、様々な視角及びコントラストの視標を設定された間隔で順次呈示する。
- (3) 被検者は、視標を視認したら応答ボタンを押す。これにより、視角に対するコントラスト閾値を定量的に測定することができる。
- (4) この検査距離はレンズの挿入により、60cm, 1m, 5mの検査距離での検査も可能である。また、背景照明の輝度の設定を変更することで、昼間や夜間といった条件設定での見え方を検査することもできる。
- (5) 必要に応じてグレア光を点灯して測定することも可能であり、グレア光の有・無の結果を比較することでグレア障害の程度も知ることができる。
- (6) このようにして、コントラストによる「見え方の質」およびグレア光の影響を定量的に測定することが可能である。

### 【使用目的又は効果】

様々な条件下における眼のコントラスト感度とグレア光による影響を、定量的に検査するために用いる。

### 【使用方法等】

詳細は機器付属の取扱説明書を参照してください。

#### 1. 操作方法

- (1) 電源を「ON」にする。  
Windows が起動し、操作パネルに検査画面が表示される。

操作パネルはタッチパネルになっており、以下の操作を行う。

- (2) 被検者データを入力する。  
年齢分類(<40, 40~60, >60)、必要に応じてIDや氏名等を入力する。
- (3) 検査条件を選択する。  
個々の検査条件、またはデフォルトの検査条件を選択する。
- (4) 被検者を本器の前に座らせる。
- (5) 被検者に本器の「顎台」に顎をのせ、「額当て」に額を当てさせる。
- (6) 被検者に応答ボタンを持たせ、検眼窓をのぞかせる。
- (7) 「START」ボタンを押して、検査プログラムを開始する。  
視標呈示部に、様々な視角及びコントラスト視標が順次表示される。
- (8) 被検者は、視標を視認したら応答ボタンを押す。
- (9) 検査プログラムの終了により、ブザー音で検査終了を知らせる。
- (10) 操作パネルに検査結果が表示される。  
必要に応じて、この検査結果を印刷する。
- (11) 続けて他の条件で検査を行う場合は、検査条件を変更した検査プログラムにより同様に検査を行う。
- (12) 検査終了後、検査画面を終了し Windows が終了したら電源を「OFF」にする。

### 【使用上の注意】

1. 機器を設置するときは次の事項に注意すること。
  - ・水のかからない場所に設置すること。
  - ・気圧、温度、湿度、通風、日光および塵埃、塩分、硫黄分等を含んだ空気などにより悪影響の生じる恐れのない場所に設置すること。
  - ・傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
  - ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
  - ・アースを正しく接続すること。
2. 使用前の注意
  - ・アースが完全に接続させているかを確認すること。
  - ・全てのコードの接続が正確かつ完全であるかを確認すること。
3. 使用中の注意
  - ・診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
  - ・機器全般及び被検者に異常のないことを絶えず監視すること。
  - ・機器の異常が発見された場合には、安全な状態で、安全な状態で機器の動作を止めるなどの適切な措置を講じる。
4. 使用後の注意
  - ・定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態にもどしたのち電源を切ること。
  - ・コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
  - ・付属品、コードなどは清浄にしたのち整理し、まとめておくこと。
  - ・機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
5. その他の注意
  - ・故障したときは適切な表示を行い、修理依頼する。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管環境

下記の条件で輸送・保管すること。

温度：-10～55℃

湿度：10～95%（結露のないこと）

気圧：700～1060hpa

### 2. 耐用期間

適切な使用を行った場合に限り、8年

[自己認証(当社データ)による]

### 3. 保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、通風、日光、塵埃、塩分、硫黄分などを含んだ空気により悪影響の生じる恐れのない場所に保管すること。
- ・傾斜、振動、衝撃のない場所に保管すること。
- ・化学薬品の保管場所等には保管しないこと。

## 【保守・点検に係る事項】

### 1. 使用者による保守点検事項

- ・機器の清掃はやわらかい布で乾拭きする。汚れがひどいときには薄めた中性洗剤に浸して軽く絞った布で拭き、その後乾拭きをする。
- ・長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
また、各コード類に引っ張り、ねじれ等ないよう配慮する。
- ・ヒューズを交換する場合は必ず定格のヒューズを使用する。
- ・ヒューズ交換する場合は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを外す。

### 2. 取扱い業者による保守点検

- ・使用者による保守点検事項と同等の内容
- ・装置の機能、性能に関する保守点検は取扱い業者では行わず製造販売業者へ連絡をする。

## 【製造販売業者および製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者

株式会社タカギセイコー

製造業者

株式会社タカギセイコー